



CROSTREK

全長:4480mm
全幅:1800mm
全高:1580mm

写真はLimited
ルーフレール装着車
(ルーフレール無し車は-5mm)



FORESTER

全長:4640mm
全幅:1815mm
全高:1730mm

写真はAdvance
ルーフレール装着車
(ルーフレール無し車は-15mm)



LEGACY OUTBACK

全長:4870mm
全幅:1875mm
全高:1675mm

写真はLimited EX



SOLTERRA

全長:4690mm
全幅:1860mm
全高:1650mm

写真はET-HS



REX

全長:3995mm
全幅:1695mm
全高:1620mm

写真はZ

delicious!

旬のクルマに舌鼓!

SUBARU SUVラインアップをいただきます!

普段の買い物からアウトドアレジャーまで、多目的で使える「実用性の高さ」によって、近年圧倒的人気を誇っているSUV。大きいものから小さいもの、都市型のものから本格的オフローダーまで、種類は数知れず。SUBARUでは、現在クロストレック、フォレスター、レガシィ アウトバック、ソルテラ、レックスの5車種のSUVを揃えています。同じSUVジャンルのなかでも個性豊かなクルマたち。どのクルマが自分にぴったりなのかかわからない方も多いのでは?そんなお悩みを払拭するため、クルマ系YouTuberウナ丼さんにそれぞれの車種の魅力を語ってもらいました!

※全長・全幅・全高は、ルーフレール装着の有無やグレードによって変わる場合があります。

ウナ井と味わう! 🍵

SUBARUの SUVラインアップ



フォレスター

走破性・安全性・本格SUVとしての機能性を追求

🕒 ホームランポイント

- 荷室側から後席が倒せるリヤシート可倒スイッチ。フォレスターは、特に速くシートがスパンパン倒れてくれるんですよ。
- 手を「グー」と「パー」にすることでエアコンの温度設定ができるジェスチャーコントロール。これは子どもがキャッキャ喜ぶ。わかりやすい未来感がいいと思いました!

🏠 ファインプレー ウナ井的 X-MODEのここが偉い!

まず、X-MODEは単なるドライブモード変更ではなく、作動条件が40km/h未満の今どき珍しいガチ仕様なのがポイント。そして、40km/h未満でヌタヌタの泥や雪からの脱出の時に使うモードの筈なのに、フォレスターなんかはデカイダイヤルをセンターコンソールの一番いいところに置く、というSUBARUの姿勢がいいですね。

大変な子育て期でも、全てを包み込み、見た目良く振る舞ってくれるクルマ

このサイズのSUVは運動しにくそう……と思われるかもしれませんが、フォレスターは非常に視界がいいので心配ご無用。メーターは見やすいし、運転席から斜め後ろの方を振り返ってみると、クォーターウィンドウがSUVとしては信じられないくらい大きい。スマートリヤビューミラーも画素数が高いタイプなので、物理視界だけではなく液晶を通して視界も凄くいい。また、後席からの視界もよく、子どもにとつても酔いにくいんです。子育て世代におすすめのポイントを挙げると、まずはドアの開度が80度なので、子

どもがリヤシートに乗り込みやすい。また、リヤ席用にUSBポートが2つあるので、スマホやタブレットの電源を差し、子どもたちが動画を見たり、ゲームをすることも可能です。

また、子どもがいると買い物だろろうと、キャンプだろろうと、常にラゲッジに沢山荷物を積むことになりやすいですね。フォレスターはラゲッジの位置が高く、屈まずに上げ下ろしできるのが、荷物が多い時には非常に便利です。小学生の親には「フォレスター」のここがいいですよ!って必ず言っています。

クルマ系YouTuberウナ井さんの視点から、SUBARUのSUVラインアップそれぞれの魅力を語っていただきました。野生動物を使った例えや、「このクルマにはまだまだいいところがありますよ!」の掛け声と共にはじまる、お馴染みの「ホームランポイント」など、ウナ井テイストも満載。美味なウナ井ワールドをご堪能あれ!



クロストレック

日常から非日常まで、いつでも行きたいところに行ける自由

🕒 ホームランポイント

- 手がスツと吸い込まれるような感触の人間工学をもとに造ったインナーハンドル。メカを使わない部分もしっかりやっていますね!
- SUBARU初採用のLEDコーナリングランプ。グレードを選べばウィンカーもLEDになるので、LED好きは大歓迎!

運転を楽しむみたい・友達に自慢したい・コスバも気になる……そんな欲張りなアナタに贈る

一般的なSUVは、サイズは小・中・大・特大、価格も安い・中ぐらい・高い・超高い、というヒエラルキーに組み込まれてしまうものの、クロストレックはそのヒエラルキーのどこにも属さない個性的なルックスをしていますよね。ある意味、輸入車のクーペSUVに近い見た目をしていると思います。だから、「SUVスペシャリティ」のジャンルはクルマだ、と友達に自慢できるのではないのでしょうか。

実際のところ、SUVでスポーティを極めていこうと思うと、エンジンの出力をとんでもなく上げ、足も減茶苦茶も属さない個性的なルックスをしていますよね。ある意味、輸入車のクーペSUVに近い見た目をしていると思います。だから、「SUVスペシャリティ」のジャンルはクルマだ、と友達に自慢できるのではないのでしょうか。

固めないと成立しない筈なんです。そのジレンマを欧州メーカーはパワーで解決する手法を取っていますよね。でも、クロストレックにはその必要がないんです。もともとハッチバックがベースのモデルなので、ハッチバック同様の操縦感覚がある。そして、コンパクトで軽量、かつ低重心の水平対向4気筒エンジンを採用しているのも、そこそここのパワーでも運動性能がいいSUVが成立してしまうんです。このようにクロストレックの特性を説明すると、友達も納得してくれるでしょう。

ソルテラ

ワクワクする先進感と SUBARUらしい走りの愉しさの実現

ホームランポイント

- ダイナミックな加速を愉しめるドライブモードセレクトの「POWERモード」と、パドルシフト。SUBARUの独自性が見えていいですね。
- 急速用と普通用で左右に振り分けられた充電ポート。「蓋斗真拳*」が2回楽しめます。

*ウナ井さんの動画で登場する用語のひとつ。給油口の蓋がワンブッシュで開くか確かめるもの。

社会情勢や新しいモノに敏感なクルマ好きにおすすめ

SUBARUの思想を楽しみたい方にはぜひソルテラに乗ってほしい。高速道路で試乗した際、高い速度のまま巡航ができることに驚きました。昔から高速ツアラーを造ってきたSUBARUが目指す究極の形がこれなのでは……。

また、雪上でも試乗したのですが、一番ヒュアにSUBARUの四輪制御に対する考え方を楽しめるのは、エンジン制御が入らないソルテラなのではないか、と思いました。「こういうことを考えてX・MODEを造っているんだ」といった感じで。

あと、グレード名が「E」!

「S」と「E」の「H」なのも面白い。他のSUBARU車のグレードはAdvanceやSPORTなのに、ソルテラだけSUBARU航空宇宙カンパニーが造っている航空機みたいなグレード名なのがカッコいいと思いました! メーカーとステアリングが小さく、ステアリングの中央にボタンが沢山あるところがメカ好きの心をくすぐりますよね。「航空宇宙カンパニー部門が月面車をもし造ったら、ソルテラみたいな姿になるのでは……」と夢を膨らませてしまいました。



レガシィ アウトバック

SUBARUのSUVフラッグシップモデルに ふさわしい上質感

ホームランポイント

- アンダー部分にきっちり収納できるトノカバー。ワゴンメーカーの意地を感じました。
- 213mmの最低地上高。異常に高い! 運転中にコビトマングースが道路に飛び出してきても、そのまま通過できます。

最新メカとトップレベルの実用性に ときめきたいオトナへ

アウトバックは、高い走行性能を誇り、荷室もSUBARU車のなかで最大という強者。その上に、ほくのような初老の体の衰えを補ってくれる側面もあるので、至れり尽くせりのクルマです。

まず、11.6インチのセンターインフォメーションディスプレイですが、とにかく巨大で老眼に優しい。ホーム画面のアプリボタンもデカくて押しやすい。地図も広範囲を見渡せるのが大変便利。どうしても液晶だとディスプレイ優先になってしまいがちですが、アウトバックのディスプレイは使い勝手のいい、世界的に

も珍しいディスプレイになっていると思います。

他にも初老に嬉しいポイントを挙げるとすると、アウトバックはワゴンベースのため、シートの着座位置の設計が根本的に他のSUVと違って低いので、乗り降りしやすい。他にも、六連星オーナメント部に肘を近づけることで開けることができるハンズフリーオープンパワーリヤゲートは、初老にはありがたい。片足で開けるタイプのリヤゲートを使う際、ほくは逆の腕も上げないとバランスが取れないので……。

SUBARUのSUVは、SUVに求められる確かな性能を、高いレベルで備えています。ラフロードでの高い走破性とオンロードでの優れた操縦安定性を兼ね備えた走り。多くの荷物を積める利便性。そして、世界各国の安全アセスメントで高い評価を受けている安全性能。そんなSUBARUのSUVで、自由でアクティブな新しいライフスタイルをはじめませんか？

SOLTERRA EV



PHOTO:ハーバーミストグレーパール(55,000円高・消費税10%込)



掲載グレード ET-HS 6,820,000円
 メーカー希望小売価格(消費税10%込)
 価格帯 メーカー希望小売価格(消費税10%込)
 5,940,000円~6,820,000円
 定格出力[kW]:フロント73(FWD) フロント59・リヤ59(AWD)
 最大出力[kW/rpm]:フロント150/5379-7500(FWD)
 フロント80/4535-12500・リヤ80/4535-12500(AWD)
 最大トルク[N・m/rpm]:フロント266/0-5379(FWD)
 フロント169/0-4535・リヤ169/0-4535(AWD)
 駆動方式:FWD/AWD(常時全輪駆動) 最低地上高:210mm

LEGACY OUTBACK



PHOTO:プリリアントブロンズ・メタリック
 ※写真はメーカーオプション装着車



掲載グレード Limited EX 4,290,000円
 メーカー希望小売価格(消費税10%込)
 価格帯 メーカー希望小売価格(消費税10%込)
 4,147,000円~4,290,000円
 エンジン:水平対向4気筒 1.8L DOHC 直噴ターボ "DIT"
 ミッション形式:リニアトロニック(マニュアルモード付)
 最高出力[ネット][kW(PS)/rpm]:130(177)/5200-5600
 最大トルク[ネット][N・m(kgf・m)/rpm]:300(30.6)/1600-3600
 駆動方式:AWD(常時全輪駆動) 最低地上高:213mm

FORESTER



PHOTO:クリスタルホワイトパール(33,000円高・消費税10%込)
 ※写真はメーカーオプション装着車



掲載グレード Advance 3,234,000円
 メーカー希望小売価格(消費税10%込)
 価格帯 メーカー希望小売価格(消費税10%込)
 2,992,000円 ~ 3,630,000円
 エンジン:水平対向4気筒 1.8L DOHC 直噴ターボ "DIT"/2.0L DOHC 直噴
 +モーター(e-BOXER) ミッション形式:リニアトロニック(マニュアルモード付)
 最高出力[ネット][kW(PS)/rpm]:130(177)/5200-5600(1.8Lモデル)
 107(145)/6000(2.0Lモデル)
 最大トルク[ネット][N・m(kgf・m)/rpm]:300(30.6)/1600-3600(1.8Lモデル)
 188(19.2)/4000(2.0Lモデル)
 駆動方式:AWD(常時全輪駆動) 最低地上高:220mm

CROSSTREK



PHOTO:オプショアブルー・メタリック(33,000円高・消費税10%込)
 ※写真はメーカーオプション装着車



掲載グレード Limited(AWD車) 3,289,000円
 メーカー希望小売価格(消費税10%込)
 価格帯 メーカー希望小売価格(消費税10%込)
 2,662,000円~3,289,000円
 エンジン:水平対向4気筒 2.0L DOHC 直噴+モーター(e-BOXER)
 ミッション形式:リニアトロニック(マニュアルモード付)
 最高出力[ネット][kW(PS)/rpm]:107(145)/6000
 最大トルク[ネット][N・m(kgf・m)/rpm]:188(19.2)/4000
 駆動方式:FWD/AWD(常時全輪駆動) 最低地上高:200mm

REX



PHOTO:ブラックマイカメタリック/スームスグレーマイカメタリック
 (55,000円高・消費税10%込)



掲載グレード Z 2,171,100円
 メーカー希望小売価格(消費税10%込)
 価格帯 メーカー希望小売価格(消費税10%込)
 1,820,000円~2,171,100円
 エンジン:水冷直列3気筒 1.2L DOHC
 ミッション形式:CVT
 最高出力[ネット][kW(PS)/rpm]:64(87)/6000
 最大トルク[N・m(kgf・m)/rpm]:113(11.5)/4,500
 駆動方式:FWD 最低地上高:185mm



レックス

コンパクトなボディサイズの中に十分な広さを備えた実用性

ホームランポイント

- ステアリングを切った方向を照らすサイドビューランプ。ヘッドランプ位の明るさでサイドを照らしてくれる。暗い夜道でも安心してね!
- カーゴボード下の大型サブトランク。ベビーカーも立てて乗せられます。

使い倒せるところは、さながら「内臓まで含めて捨てるころなし」のアンコウ
 SUVが流行っているって分かってはいるが、流行に乗るタイミングを見失い、結構長いことハッチバックに乗っている。でも、小さいものから大きいものまで様々なSUVがあるので、どれを選べばいいかわからない。いざ買ってみたら自分に合わないのではないかと、コスパが悪いのではないかと、という悩みを持っている人も多いと思うんですよ。そんな人にレックスは断然おすすめですよ。
 まず、価格が安い。それから買った後、燃費がいいので維持費も安い。そして時流に乗ったクルマなので、近所からも褒められる。それに

加えて、アイポイントが高く運転が楽。いいこと尽くめで、魚のアンコウは内臓まで含めて捨てるころなしと言われますが、レックスはガソリン車が走れなくなるその日まで使い倒せる、アンコウみたいなクルマだと考えます。
 SUVはサイス的にデカいものが多いなか、レックスみたいな荷物がしっかりと積める5ナンバーのSUVっていうのはなかなかないんですよ。どんな人でも、歳をとっていても若くても、とにかくSUVの入門車として絶対に後悔しないクルマだと私は思っています。

Profile ウナ井

YouTube: @enthucarguide1 twitter: @EnthuCarGuide

主にクルマ系YouTubeとして活躍中。2011年に自身で開設した「ウナ井STRUT. エンスー-CARガイド」は、現在では37万人(2023年3月1日時点)もの登録者をもつ注目YouTubeチャンネルとなっている。日本カー・オブ・ザ・イヤー選考委員。自動車メディア「clickcar」「月刊車用車」「GENROQ Web」で新車レビューも行っている。

